



みんなで大きな ものを作り上げる

統計局統計調査部経済統計課統計専門職

岩本 明子

IWAMOTO Akiko

平成21年 4月 総務省採用
統計局総務課人事係
平成22年 4月 大臣官房秘書課
平成24年 4月 統計局統計調査部消費統計課企画指導第一係
平成26年 4月 経済産業省大臣官房参事官付
併任 経済産業省大臣官房調査統計グループ
構造統計室
平成28年 4月 現職

『調査への意見を吸収し、調整する場所』

「経済の国勢調査」とも呼ばれる「経済センサス-活動調査」。

平成28年6月1日を期日として日本全国の事業所・企業を対象とした5年に1度の大規模な調査であり、総務省と経済産業省が連携しながら約4年の準備期間を設けて実施します。私は経済産業省で調査書類の作成、企業説明会などの業務を2年、総務省統計局で都道府県と調整を行いながら調査日を迎えて1年、合計で約3年この調査に携わっています。

調査をご存知でない事業所・企業の皆様からの問い合わせもあり、丁寧に分かりやすく説明しご理解いただくのも大切な業務の一つです。また、都道府県・市町村との連携が大変重要であるため、適切な時期での情報提供や地方ならではの視点での意見をうまく吸収することも、より良い調査実施には不可欠です。

多くの人と関わりを持ちながら大きな調査の一翼を担う、とてもやりがいのある業務です。

『どんな仕事でも一人では出来ない』

「良い仕事」とは「良い人に出会えるか」だと思っています。

私は総務部門・統計調査部門の両方を経験してきました。それぞれ異動してすぐは仕事の進め方もその業務自体も未知の世界でしたが、上司、先輩など様々な人に教えてもらいながら徐々に成長できます。知らないからこそ新しい目線で気づくこともたくさんあります。自分の意見を言えばしっかりと耳を傾けてくれる人もいますし、問題提起もしてくれます。

最近はビックデータが注目され、統計にも関心を持ってもらうことが多くなりましたが、まだまだ地味なイメージがあるのが統計調査業務です。そのような中で統計調査の実施者側として同じ志を持ち、より良いものを作り上げようと協力し合えるメンバーに出会えることは、とても有意義だと感じます。

Some One Week

Monday

予算要求資料の作成、上司へ確認依頼。



Tuesday

経済産業省、都道府県、調査対象事業所からの照会対応。

Wednesday

都道府県に訪問し、統計担当者から県の実態、今後の問題点について意見交換。

Thursday

政令指定都市にも訪問し、市ならではの気づきについて意見交換。

Friday

次回調査に向けて、今回調査の実施状況報告を作成。



Private Time

平日は慌ただしいことが多いので、土日は気になるカフェや映画館・美術館に行ったり、地元を散歩したりとゆっくりと過ごしています。

のんびりと外を歩いていると気分転換にもなり季節を感じることも出来るので、忙しい時期でも心に余裕を持って過ごせます。